

□年□組 B

主に課題となっている点（子どもが困難に感じていること、担任が困難に感じていること）		
○シート1, 2にあることをまとめる。		
長期目標		
1. 学習中のルールを理解し守ることができる。 2. わからないことや困ったときに、その場に応じた言葉で伝えることができる。		
短期目標（ ○学期）		
目 標	具体的な手立て・校内支援体制	評 価
1. 着席して、授業に参加できる。	○1日の予定や学習中のきまりを掲示する。 クラス全体に指導し、徹底する。 ○予定の変更は事前に伝える。急な場合でも、視覚的にわかりやすく伝える。 ○ひとつの課題が終わったら、次に何をするのか見てわかるようにしておく。(T.T.支援) ○一度に出す指示は、一つにする。 ○作業に取りかかる前には、質問の時間や間違えそうなポイントを例示して確認する。(T.T.支援) ○できていることを沢山ほめる。	○授業の流れがわかり、離席することがなくなった。 ○作業前に間違いやすいところを説明したので、思い違いで失敗することがなくなった。 ○速くやろうとあせってしまい、うまくいかないことがある。 ○期待した結果にならないと怒るが、あまり乱暴なことはしなくなった。
2 「貸してください」「どうやるの?」と言葉で伝えることができる。	○「貸してください」「ありがとうございます」「ごめんなさい」など必要に応じてことばで相手に伝える練習をクラス全員でする。 ○上手に言えたことをほめる。	○スムーズではないが、人に頼んだり、お礼を言ったりできるようになってきた。
今後の課題		
○これまでの乱暴な行動は、やることがよくわからなかったり、「全部できていないといけない」と思い込んでいたりして起きていたということがわかり、これに対する手立てを講じたことで激減した。できないことに対する思い込みやコミュニケーション面についての課題は、これまでの校内支援だけでは十分ではないと考えられ、通級指導教室等で個別対応の支援が必要と考えられる。友だち関係の改善などについても、どうしていけばよいか外部の専門家のアドバイスを受けたい。		
保護者との連携（家庭で協力してもらったこと）		
○医療機関の受診 ○通級指導教室への申請 ○持ち物の忘れ物がないように毎日連絡帳の点検をする。 ○一緒に遊んだり、家事をしたりして触れ合う時間を作る。		

